

しんめいばら

回 覧

第 166 号
2019.2.20

定期整備!

二月三日(日)久しぶりに気温が上がり子供会・愛護会員十七名の参加により定期整備を行いました。今回は公園外周に溜まった落ち葉の収集や、雑草の取り除き、液肥による施肥などを進めました。毎回参加をいただく子供会役員のお母さん達も一年間の参加で作業に大分慣れ、子供さん達に指示をしながら大量の落ち葉の収集と運搬を手際よく行っていただき、高齢化が進み作業が少し困難となりつつある愛護会会員のたいなる手助けとして活躍をしていただきました。



残りわずか、頑張って!

公園カフェ!



二月三日(日)午後より毎月恒例の「公園カフェ」が高松公民館にて開催されました。会の運営は高松二丁目自治会のシニアサポーターが行い、多くの愛護会員も公園整備の後参加し、長年活動を続けています。健康や家庭生活などの会話が弾む中で、簡単な手芸、唱歌、体操、ゲームなどが行われ楽しいひと時を過ごし、桜が満開の時期には公園で昼食会なども催されます。来年「憩いの家」(仮称)が公園内に完成すれば、更に近い会場での開催となりますので是非ご参加下さい。

きれいにできました!

豆知識!

【花壇のデザイン】

『お花畑』という言葉はよく耳にします。休耕田にひまわりやコスモスを植えたものではなく、南アルプスなど高山の『お花畑』のことです。その植物は、他の植物が生きられない厳しい環境で何千年も営々と命をつないできました。なぜか可憐な花を咲かせるものが多く、人びとを感動させます。ある時は、ひっそりと岩陰に、またある時は、大きな群落をつくって目を見張らせます。人の手の入らない独特の景観の中で生き続けてきただけに景観と完全にマッチしています。フランス式庭園などは、人工的な幾何学模様だったりしますが、日本庭園は、自然の景観を庭に取り入れたものといわれます。自然に学ぶことは、ガーデニングの原点のような気がします。



赤石岳にて!

今日の公園!



土の乾燥にも耐えて!



お知らせ!

- 三月の公園整備は三日(日)です。花苗植栽、施肥、灌水などの作業を行いますのでご参加下さい。
- 三月の回収、ピン・缶は二十六日(火)、古紙は二十四日(日)です。町内会の回収活動にご協力下さい。
- 高松神明原公園愛護会は現在二十五名の会員により公園の美化活動に取り組んでいます。町内会員に限らずどなたでも入会が出来ますので、ぜひご参加下さい。

連絡先・二三七五一八一 山本まで